

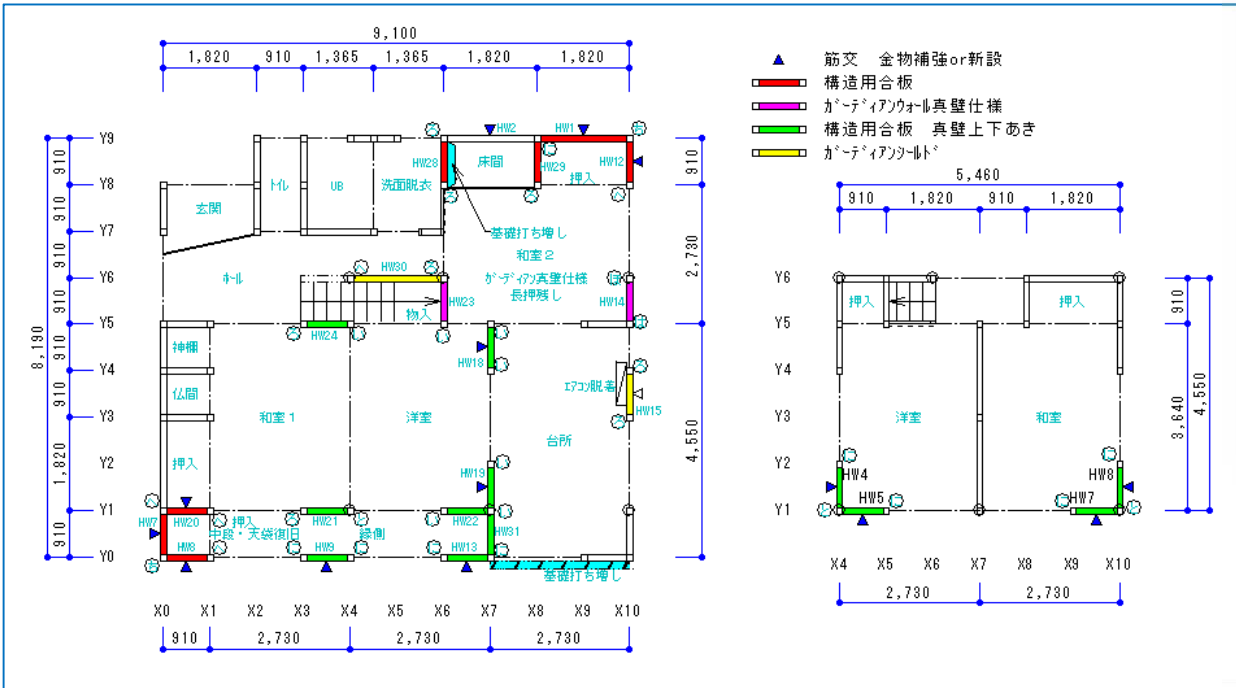
佳作

【工法の種類】 部分開口 構造用合板 真壁上下あき工法
 ガーディアンウォール・ガーディアンシールド工法

【応募者名】
 荒川建築事務所 U 建築

耐震診断値

改修前：0.27 改修後：1.15
 工事費：184万円 工事期間：15日間



① ガーディアンシールド ② ガーディアンウォール ③ 部分開口 構造用合板 真壁上下あき

コストを抑える事に有効な工法を極力多く採用した

- ① ガーディアンシールドは天井・床の解体が不要の鋼製の筋交い
- ② ガーディアンウォールは天井・床の解体が不要で長押・付鴨居も残せる
- ③ 真壁上下あきは材料が安価で施工性が良い

昭和38年築の乾式の建物です。なるべく安価に1.3程度まで補強をしたいというご要望に沿って、天井・床の解体復旧をとまなう補強は押入等、復旧が限定的な箇所だけにし、他は天井・床を解体しない写真のような工法を選択しました。補強した壁数は多くなりましたが、それぞれ施工性の良い工法なので2週間程度の工事期間で完了することができました。早く工事が完了したことで、お客様の負担も軽減でき、喜ばれました。

NPO 耐震化アドバイザー協議会 荒川建築事務所・U 建築



柱接合部や筋交金物補強でも評価をあげることが可能。少しの工夫で床や天井が残っていても施工できる。



オーソドックスな押入内補強
 復旧が限定的なので
 費用対効果が高い

【講評】

本協議会で評価した安価な耐震改修工法を効率的に使用し、1階の改修前評点が0.27であったものを1.33まで劇的に向上させた事例である。2階壁の補強位置が1階の壁位置と一致していないなど、踏み込んだ技術的検討が必要な点もやや見受けられるが、住宅所有者の不安や今後の人生を事前に丁寧にヒアリングし、補強効果とそれによって得られる安心を実感を持って伝えるための工夫をしている点が高く評価されたことから、佳作とした。